

# POLE



北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」  
2021.5.1

## 『Exodus/エクソドゥス』 プロジェクトの成果と 今後の協力の展望

ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」団長  
ズビグニェフ・チェルニャク



「シロンスク」舞踊団はポーランド民族文化を伝えるアンバサダーとして、昨年末、日本において「インスピレーション溢れる舞踊～フォークロアから現代へ」と題するプロジェクト——ポーランド文化普及促進の革新的なアプローチであるダンスパフォーマンス『Exodus/エクソドゥス』\*を披露しました。当プロジェクトはポーランド文化・国家遺産省の助成事業「インスピレーションを促す文化」として認可を受けました。

元々の計画では日本のいくつかの都市で公演を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大のためツアーは中止になりました。公衆衛生上の規制のためプロジェクトの実施形態の変更を余儀なくされ、いろいろ工夫して動画鑑賞会とインターネット配信を実現することができました。上映イベントは聴衆の人数を制限し、厳しい感染防止策を講じて行なわれました。

このような困難な状況にもかかわらず、『エクソドゥス』および、その欠かせない一部であるポーランド民族舞踊ワークショップ(振り付けレッスン)録画は、日本のパートナーの間に大きな関心を引き起こしました。こうした特上のご協力のおかげでポーランド文化とフォークダンスは日本の聴衆に広く受け入れられる機会を得たのです。

ダンスパフォーマンス『Exodus/エクソドゥス』は多様な文化の特別な出会いであり、「シロンスク」舞踊団の作品からインスピレーションを得たさまざまなタイプのダンスと音楽のショーです。創作を手掛けたのは国立民族合唱舞踊団「シロンスク」の振付師でバレエディレクターのミハウ・ズプコフです。彼は世界的な名声を誇る作曲家ヴォイチェフ・キラルの音楽の内容とそこに含まれるさまざまな感情に基づき、人生を、幸福や、人の欲望の実現、他の人間との親密な絆を求める旅として描き出しています。

ダンスパフォーマンスはシロンスク・ロズバルク劇場の舞台とポーランドの野外空間で実現され、豊富なビジュアルアートの要素が加えられています。

『エクソドゥス』プロジェクトに含まれる歴史的意味も強調する必要があります。

本作は100年以上前の出来事——1920~22年に日本政府と日本赤十字社の尽力により800人近いポーランド孤児が内戦で破壊されたシベリアから救出されたことからインスピレーションを得ています。日本の支援により子どもたちは敦賀港と大阪港から上陸し手厚い看護を受けました。

また本作は、主にポーランドから逃れてきたユダヤ人に、日本政府の再三の指示を無視して4000通超の日本通過ビザを発給したリトアニア・カウナス駐在日本領事代理杉原千畝の物語にもインスピレーションを得ています。ポーランド孤児と同じように、多くのユダヤ人が敦賀港から日本に到着しました。最初の動画鑑賞会が同市の人道の港敦賀ムゼウムで行なわれたのは、そのためです。

2019年にポーランド・日本国交樹立100周年が祝われたことが、プロジェクトを巡るこうした活動の適切な背景となったのも確かです。

パートナーのみなさまの多大なご支援とご尽力により昨年、以下の場所で『Exodus/エクソドゥス』動画鑑賞会が催されました——2020年11月3日、

\* <https://www.youtube.com/playlist?list=PLBS8QnZswkMIZNdchius56zBmqpyJcQQV>



超えた重要性をもつことを示す優れた形態となりました。

日本で長年にわたりポーランド文化普及を進めてこられた諸団体と多くのポーランドダンス愛好家のみなさまの役割を強調し高く評価したいと思います。

「シロンスク」舞踊団は、日本でショーの企画に携わってくださったすべてのプロジェクトパートナーにこの上なく感



人道の港敦賀ムゼウム(リニューアルオープン記念行事の一環)、9日、東京・シアターX(カイ)(ポーランド広報文化センター協力)、21日、札幌エルプラザ(北海道ポーランド文化協会定例総会と併せて開催、参加者 29人)、29日、東大阪市文化創造館(日本・ポーランド民族舞踊友好協会主催)、同日、瀬



戸内市民図書館(Polish Art and Science Mission in Japan 主催、ポーランド文化ウィークと併せて開催)。

動画鑑賞会に併せて、専門家やポーランド文化普及に携わる人々による講演やプレゼン、写真展、ポーランドの伝統を紹介する本やグッズの展示も行なわれました。

コシエンチン市の「シロンスク」舞踊団のダンス教師たちがアレンジして録画したポーランド民族舞踊(ナショナルダンスとリージョナルダンス)ワークショップは動画鑑賞会の欠かせない一部です。それはポーランド文化との豊かな出会いを創り出し、特に日本のフォークダンス愛好家にとって大きな教育的価値をもたらしました。

本プロジェクトで、ポーランド文化の普遍性と世界文化遺産の構築におけるその役割を示すことができました。伝統芸術と現代アートを結びつけて、さまざまな文化の相互浸透という現象をよく示しました。また、コンテンポラリーダンスとフォークダンスを一つにまとめ、ダンスパフォーマンスと、ナショナルダンスおよびリージョナルダンスを並べて置くことは、伝統文化が、ダンスと音楽の国際的コミュニティを統合する要素として、時代を

謝しています。世界的感染拡大のため制約の多い時代に、多くの親切な素晴らしい方々のおかげでプロジェクトは実施されその目的を達成しました。舞踊団に対する感謝の言葉とポジティブな感情に満ちた評価から、プロジェクトは大成功だったと結論することができます。

公衆衛生上の規制がない時代になれば、これはさらに大きなプロジェクトの出発点となると確信します。

「シロンスク」は、これまで得たこの共通の経験を日本でポーランド文化を促進するために利用することが有益だと固く信じています。「シロンスク」の豊かな芸術的成果を含む、ポーランドダンス普及への協力、およびこの目標達成を目指す日本のポーランドダンス愛好家の活発な活動は、特に強化する価値があります。

「シロンスク」は、その教育的潜在能力を活かして、さまざまな形でポーランドダンスの普及を支援する用意があります——日本で開催される可能性のある、特に学生と若者のためのワークショップにインストラクターを派遣し、舞踊団の主催するサマーアートスクールに日本のフォークダンス愛好家を迎えることができます。

舞踊団は、フォークミュージックやナショナルミュージックだけでなく、クラシック音楽や宗教音楽、舞踊団が参加して制作されたポーランドに関するプログラムなどのコンサートの録画と日本語の解説を、パートナーのみなさまに無料で提供できます。

舞踊団は、日本のパートナーからの新しい分野や形態での協力に関する提案や、日本のパートナーが主催する事業への参加も歓迎いたします。

パートナーのみなさまとより定期的で系統立ったさらなる協力の形を確立することは、間違いなく、日本においてポーランド文化をもっと豊かに提供することに貢献し、この普及活動の質と効果を向上させ、長期的にみて、日本とポーランドの文化協力を発展させると信じます。

最後に、北海道ポーランド文化協会のこれまでのご協力に感謝し、今後の協力の発展を願うとともに、会員とご家族のみなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

(Zbigniew Cierniak, Dyrektor, Zespół Pieśni i Tańca „Śląsk” im. Stanisława Hadyny, Mirosław Błaszczak&安藤厚訳)



ダンスパフォーマンス『Exodus/エクソドゥス』\*



しょうか  
頌歌 ode オード

長屋 のり子



私は激しく息を呑みました  
私の眼は目瞬くことを  
やめました。  
それで私は耳殻すらも  
澄ませて  
ビデオ画面に  
吸い込まれていたのです。  
そうして私は  
私は「舞踏する言葉」を  
聴いてしまったのです。  
ポーランド国立民族  
合唱舞踊団の  
皆さん。あなた達の、  
あなたの舞踏は、  
間違いなく 美しく深い  
「言葉」でした。  
踊るあなた達は  
視覚的に 緘黙を  
貫いているというのに  
無辺宇宙への  
詩の、  
哲学の、  
思索の、言葉を  
放ちつづけていました。  
旋律のように  
矢のように。  
それは実に繊細で  
多様で多弁で  
多彩でした。  
めくるめく広遠さでした。  
いえ、舞踏そのものが  
銀河系宇宙、  
である一瞬すら  
観客の私は把えたのです。  
踊るあなた達の  
関節が一瞬止まり、

その球関節が  
次の所作への  
骨の羽を広げる  
瞬間の、それは、  
東洋の、日本の、  
伝統芸能、“能”  
(その三歩の歩みが  
宇宙そのもの…と  
言って憚らない、  
あるいは世界の断ずる…)  
あるいは人形浄瑠璃の  
暗赤色の光彩を  
鮮やかに放ちました。  
真に、まっすぐに  
誇らしい  
シンクロナイズ!の  
感得でした。  
精密にシーンを  
辿れば  
窓 窓 窓 window window  
window  
格子 格子 格子  
frame frame frame  
あれは生者と死者の  
希望と絶望の  
相貌の早送りでしょうか  
ポーランド民族の  
誇らしい、美しい顎際立って。  
意志の顎!意識の顎。  
茫漠とした砂漠で  
(あれは砂丘だった  
かもしれない。  
あるいは あるいは  
沼のさざ波  
湖のさざ波だった

かもしれない)  
いずれにせよ 道も道標も  
ない荒寥の場所で  
あなた達は踊る  
詩劇のように踊る  
無言劇のように踊る  
あなた達の明瞭な  
激しい呼吸音の中に  
私は聴いた  
舞踏という星の  
発した言葉を。  
舞踏が砂浜に  
墮とす軌跡。  
言葉と言葉の影の  
圧倒的な噴出。  
砂漠から巻きあがる  
精霊 魂魄  
精霊踊る  
魂魄踊る  
精霊踊る  
魂魄踊る  
あなたが あなた達が  
言葉を肉体で描いて  
いるのを知るので。  
私は歓喜に  
満たされました。  
舞踏という  
銀河系宇宙の中で  
あなた達の肉体は  
きわめて きわめて  
極めて 極めて自在で  
自由奔放な  
空間構成を持つ  
建築体、そして そして  
結晶体  
であることがまざまざ

\* [https://www.youtube.com/playlist?list=PLBS8QnZswkMm8\\_TwgXEpFq9AdHP0\\_hjBU](https://www.youtube.com/playlist?list=PLBS8QnZswkMm8_TwgXEpFq9AdHP0_hjBU)



知れて 芳しい  
 陶酔をもたらしました。  
 あなた達の舞踏は  
 世界の沈下 固着化  
 不自由を 端的に  
 ひと思いに 突き刺し  
 突き破り、  
 優雅に 熾烈に  
 典雅に 大胆に  
 すくっと 鮮烈に  
 世界の中心に  
 立ちつくしてみせ  
 精霊の一化身で  
 あるかのように  
 権現である如くに  
 新たな肉体の動きを  
 私の現前に 眼前に  
 峻烈に見せつけました。  
 これほど B・G・Mは  
 音楽は鳴り響いて  
 いるというのに  
 音もなく 音もなく  
 音もなく  
 静かに 静かに 静かに  
 魂魄 踊る  
 精霊 踊る  
 あなたは あなた達は  
 舞うのです。  
 フランスの永遠の美青年  
 ジャン・マレーのような  
 精悍な顎引き締めて  
 輪舞すらも  
 群舞すらも  
 彗星の肉体で  
 舞うのです。  
 時に 即興舞踏のように  
 時に 様式舞踏のように  
 手の舞踏を  
 肩の舞踏を  
 背の舞踏を  
 踊り切るのです。  
 舞い尽くすのです。  
 白い氷の炎を

背景に あなた達は  
 まず、小さな  
 赤い“点”でした。  
 あれは死の床に  
 横たわる者達  
 だったのでしょうか。  
 あれは母親の胎内に  
 眠る者達で  
 あったのでしょうか。  
 息詰めて  
 耐えて 耐えて 耐えて  
 うずくまる あなた達。  
 やがて  
 平面は自らの力で  
 起ちあがり、  
 翻り 翻り  
 自らの火で 炎のように  
 燃えたちます。  
 輪舞は 生への、  
 生きることへの  
 謳歌として  
 私の耳核を 視覚(核)を  
 揺るがせました。  
 聴こえない歓声が  
 怒涛として  
 鳴り出しました。  
 白い衣裳の流動  
 赤い首飾りは外され  
 赤い首飾りは外され  
 水琴窟へ  
 水琴窟へ  
 古いトランクを提げた男  
 大きな四角のバッグを  
 抱えた女  
 あれは愛を運ぶ  
 死者の足どり  
 あれは愛を探がす  
 死者の戸惑い  
 超詩的、暗示的  
 世界が  
 光速で、そして静謐に  
 私に運ばれました。  
 舞踏は

激しい熱です。  
 夥しい 眩しい 熱量で  
 舞踏言語は  
 舞踏言語は  
 私に届きました。  
 あなた達は  
 あなた達は  
 今日、深遠な  
 “鳥”でした  
 踊り終えて  
 あなた達の類い稀な  
 美しい腕は  
 まるで大きな  
 羽のように  
 決意のように  
 折り畳まれました。  
 奇蹟的な羽音でした。  
 永遠への透過。  
 私は激しく身震い  
 しました。  
 いずれにしても今日  
 あなたは、あなた達は  
 宇宙の 繊細な  
 内部を  
 あなたは、あなた達は  
 自らのその肉体の隅々までを  
 切り裂いて  
 その純粋な内部を  
 見せてくれました  
 至上の稀有な  
 肉体言語との  
 遭遇でした。  
 あゝ、ポーランドの  
 真摯に 清浄な  
 舞踏家達よ  
 完璧な求道者達よ  
 無比な洗礼者達よ  
 幸いあれ  
 幸いあれ

(ながや・のりこ、本会会員)

(2020.11.21 代読:熊谷敬子、舞踊:若松由紀枝) =背景写真=